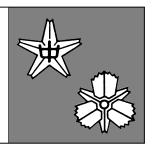


発行所 〒921 8116 金沢市泉野出町3丁目10 10 石川県立金沢泉丘高校内

泉同窓会 話(076)242 0211 FAX (076) 242 0211 2001.5.30.発行

E-mail: issen knz@hotmail.com



弓道部の復活と弓道場『如泉堂』の竣工



時を語る。



道場の名付け親は徳田 寿秋校長(泉丘12期)。 本校教育目標「心身一 如」と校名の「泉丘」か ら各一字を採り、心と体 が一つであり、文武両道 の鍛錬拠点の一つである という意味から「如泉 堂」と命名された。

2001年 3 月28日「如泉 堂」竣工式は一泉弓道会

主催で古式に従い厳粛にとり行われた。「天地祓 いの儀」は石川県弓道連盟会長で小松安宅住吉神 社宮司の北村正彦氏。「巻き藁射礼」は会長の高 畠有幸氏。ともに高齢とも思えぬお二方の武道で 鍛え抜かれた凛として気迫のこもる弓道の儀礼が 参列者一同に披露された。「矢渡し」は弓道部顧 問麻多真先生。以下部 OB 会員の「祝射」、現役 部員の「答射礼」と進み、最後に2年生の弓道部 部長中島俊介君の謝辞で式は終了。みぞれまじり の肌寒さをものともせず、夕方まで OB と現役の 競射が続けられた。

部員らも日頃錬成の甲斐あって、昨年度の高校 新人戦では女子の初優勝を含む男女の W 入賞を 果たすなど、躍進への基礎は固まっている。部員 数は4月現在、74人と運動部屈指の大世帯。如泉

部員で所 せましと ひしめき あってい

堂は弓道 る。

その後、柔道部が1952(昭和27)年、剣道部は 竹刀同好会としてその翌々年に復活。弓道部は一 泉創立100周年を機に、一中弓道部 OB の42期高 畠有幸、49期石田直行、50期の山形周一郎、太田 重雄、山岸春生氏らが度々学校を訪れ、復活を要 請。関係者の熱意が漸く実を結び、1994同好会が 承認され、96には正規の部へと昇格。一中弓道の 輝かしい伝統の復活でもあった。一泉弓道会石田 初代会長らが弓道場再建に向けて96年10月、学校 長へ陳情書を提出。創部100周年目の2000年10月、 1,700万円の県予算で運動場西南のテニスコート とプールの間に着工の運びとなった。石田会長は 98年に亡くなられたが、その遺志を引き継いでの 弓道場実現であった。

金沢一中の弓道の嚆矢は、1900(明治33)年6

月3日開催の第一回弓術大会で、久田督第三代校

長自ら競射に参加した記録が残っている。本多町 校舎時代の弓道場は1937(昭和12)の泉野原頭へ

移転時に新校舎の運動場西南隅に移築された。太

平洋戦争中、射場の屋根が台風で大破し、終戦時

には畑になっていた。弓道部も敗戦と同時に廃部。

崩れた土手とその上に毎春咲くソメイヨシノが往



平成12年度一泉同窓会総会 670 人が集い盛大に

平成12年度一泉同窓会総会並びに懇親会は、10 月15日(日)午後6時から金沢東急ホテルで盛大 に開催され、和やかな交流の場となった。

日曜日ということで出席者の数が心配されたが、733人もの申し込みがあり、総会・懇親会への出席は670人を越え、出席率は92.5%で、過去最高となった。会場に入り切らず、幹事期の出席者は別室で我慢して頂いたほどで、毎年、総会にむけての幹事期の準備作業や配慮には、頭の下がる思いである。

小倉周一郎会長(泉丘7期)は「一泉110周年に向けて盛り上げていきたい」と挨拶。徳田寿秋校長(泉丘12期)は、「泉丘高校の進学が全国の特色ある大学学部と散らばる傾向にある」と生徒の個性に応じた進学指導の実態を紹介。12年度の高校総体では、総合で県下3位になるなど、「往年のスポーツ校泉丘の復活なるか」も、話題の一つとなった。正村事務局長の事業・会計報告が行われ、満場の拍手で終了。

続く懇親会開催に先立ち、中田佳珠さん(泉丘31期)のピアノ、出口裕子さん(泉丘41期)のバイオリン演奏が披露され、サラサーテのツィゴイネルワイゼンのピュアな旋律をたのしんだ。

荒川宏相談役(一中45期)の乾杯音頭で懇親会開始。シドニーオリンピックのトランポリン監督・塩野尚文氏(泉丘12期)の五輪宿舎でのエピソード、科学的トレーニングでオリンピック女子競泳選手たちを育てあげた吉村豊中央大学水泳部監督(泉丘17期)のオーストラリアからのメッセージなどが紹介された。

会場には「北中良枝とジェラスガイド」の生演奏が軽快なリズムとほどよい音量で雰囲気を盛り上げ、歓談は尽きなかった。



〈厳粛に物故者慰霊祭〉



総会に先立ち、午後3時から本校前庭の「厳霜碑」前で物故者慰霊祭が行われ、関係者ら30余名が参加して、いまはなき先輩諸兄の霊に合掌し冥福を祈った。

厳霜碑は日露戦争で戦死した金沢一中出身者を慰霊するため、明治41年10月15日に建てられ、一中精神涵養の象徴だった(毎年の慰霊祭はこの日にちなんでいる)。建碑式当日の詳細を記した一中校友会誌14号が一泉文庫には欠落しており、碑文起草者三宅雪嶺らの言説も載っていたと思われるだけに、惜しまれてならない。

最後は例年のごとく「南征の調べ」「応援団団歌」「一中校歌」「泉丘校歌」を全員で合唱。柳田隆総会実行委員長(泉丘19期)のお礼の言葉、泉丘20期・岡能久来年度実行委員長への引き継ぎ、水谷昭副会長(泉丘7期)が閉会挨拶。一泉同窓会の益々の発展と会員の健康を祈念し散会となった。12年度幹事期の泉丘19、20、28、38期の皆様、ご苦労様でした。2001(平成13)年は10月15日(月)開催の予定。幹事期は泉丘20、21、29、39期の方々。



<同窓会事業と報告>

平成12年度事業報告

- 5・1 同窓会機関紙「一泉」28号発行
- 6・3 関西一泉同窓会総会
- 6·17 代表委員会
- 9・1 一泉行列
- 10・15 一泉同窓会総会・物故者慰霊祭
- 11・5 関東一泉同窓会総会
- 11.8~12 桜美会展
 - 一泉同窓生住所職業等調査 (12 488名)
- 11・18 松任一泉同窓会総会
- 1・26 役員会
- 2 · 25 鶴来一泉同窓会設立総会
- 3・28 泉丘高弓道場竣工式

平成13年度事業計画

- 5・6 同窓会機関紙「一泉」29号発行
- 6・2 関西一泉同窓会総会
- 6・16 代表委員会
- 9・1 一泉行列
- 9・2~4 学校記念祭 桜美会展
- 10・5 関東一泉同窓会総会
- 10・15 一泉同窓会総会・物故者慰霊祭
 - 一泉同窓生住所職業等調査

(12,000名)

一泉同窓会基金 資産および事業内容

平成12年度中間報告 平成13年2月26日現在(単位千円)

財産目録	基本財産 百周年記念特別基金 公益信託教育振興基金	4 0 ,0 0 (5 0 ,0 0 (
	運用財産	6 2 3	3
	同窓会支援金	1 ,5 0 (0
	寄付金	3 9	9
	運用収益	2 3 (0
	合 計	92,392	2
平成12年度実施事業	事務費(信託報酬・公告)	3 6 8	8
	一泉賞(表彰生徒数43名)	6 3	3
	クラブ活動助成 理数科課題研究助成	2 5 (2 0 (_
	国際交流活動助成事業	1 0 0	0
	福祉活動支援 図書購入助成 遠征用送迎バス買替積立 資金	13(0
	通信制体育用品購入助成	100	
	小計	1 ,5 1	1
	来年度繰越運用財産	88	1



【通信制教育内容のより充実を】

全国高校定時制通信制教育振興会で研究発表

泉丘通信制32期で、一泉同窓会代表委員の名木栄一郎氏 が、平成12年8月10~11日金

沢で開催された全国高等学校定時制通信制教育振興会大会第3分科会で「定時制・通信制における教育システム」と題する研究発表をし、通信制教育内容の充実を訴えた。

近来、通信制生徒の構成実態は以前の社会人が「働きながら学ぶ」と異なり、「多様化」した。 生徒は15~18才が70%を占めていて、職業を持た ない者が半数を越えている。その理由は多々ある が、全日制の教育制度や人間関係不適応のため、 転学、あるいは一旦退学して再入学して来た編入 者が新入生の70%を越えていて、経済的原因によるものでない者が多い。

発表の趣旨はこのような現状を踏まえ、将来の 大学進学や就職活動を考慮してカリキュラムの多 様化、総合学科制の採用、技術技能の習得、社会 人講師の登用など、教育システムの改良を提案す るものであった。

また発表者の通信制卒業の実経験から、教師と の人間関係の構築、友人づくりの必要もうたって いる。

泉丘高校通信制は、平成11年4月から七尾サテライト校を発足させ、現在30名が学んでいるが、 教師陣などの充実を望んでいる。

受賞おめでとう! 第7回「一泉賞」

一中の「文武両道」と、泉丘の「心身一如」の 校是に添い、一泉創立100周年の翌年、1994年度 に一泉基金事業の一つとして発足した「一泉賞」。 今年度から全日制に関しては校内表彰との重複を さけ受賞者数を限定した。

平成12年度の一泉賞受賞者は全日制2人・通信 制1人であった。

白崎圭一君 日本化学会化学教育協議会議長賞 受賞。「夢・化学 - 21委員会」と「日本化学会・ 化学教育協議会」が共催する『全国化学高校グラ ンプリ』に応募し、598名の参加者の中から選ば れたもの。一次の筆記試験、二次の実技試験を突 破し、優秀賞5人の1人に選ばれた。同賞受賞は 北信越では初めての快挙、サッカー部選手。

山崎麻衣さん トランポリン競技で、全国イン ターハイに出場。1年生の時個人第4位・シンク 口第3位、2年生の時個人第2位・3年生では個 人優勝で最高演技点賞を受賞した。

池本史子さん(通信制) 通信制年長、社会人 生徒として学習はもちろん学校行事への参加でも 模範となって活動した。

表彰式は2001年3月の卒業証書授与式に先立ち 行われ、小倉周一郎会長から賞状と記念品が手渡 された。



寄付をお待ちします

一泉同窓会基金では基金の運用収益が殆どあ りません。一泉同窓会事務局にお申し付け下さ い。払い込み振替用紙をお送り致します。

寄付 中川敏明(泉丘20期) 20 000円 本部 均(一中32期) 5.700円 その他 13 300円

" 思い出の記念植樹 " 今年の卒業生は白梅と紅梅を



校庭内記念植樹 (石製副碑・木製標柱付き) 久田督校長銅像ゾ・ン

ハナミズキ チャボヒバ 泉丘17回卒業25周年 38回卒業 39回卒業 チャボヒバ 40回卒業 タイサンボク 41回卒業 クロガネモチ 43回卒業 44回卒業 ハクバイ コウバイ サザンカ 45回卒業 46回卒業 47回卒業 カガシロシダレツバキ ヤマボウシ 厳霜碑ゾ - ン

-中45回卒業35周年 クロマッ -中47回卒業35周年 一中55回卒業30周年

クロマラ ヒイラギ ゴヨウマツ(木製標柱) モッコク(木製標柱) ゴヨウマツ(木製標柱) 泉丘3回卒業20周年 37回卒業 カナメモチカシワ 48回卒業 49回卒業 シダレザクラ 52回卒業

富田輝象銅像ゾーン 通信制課程40周年 モクレン

校舎正面道路側左ゾーン 野々市一泉同窓会一泉90周年通信制課程50周年 サクラ6本 モクレン

中庭奥ゾーン 泉丘42回卒業 サルスベリ 50回卒業 ハナミズキ

51回卒業 運動場ゾー 一中38回卒業30周年 ケンロクエンキクザクラ6本

生徒ホ・ル前ゾ・ン

ハクバイ・コウバイ2本 泉斤53回卒業 標柱・副碑の付いているものは以上の通りであ る。ほかに記録がないので、これ以外にもあれば同窓会が紹介にある。 またに記録がないので、これ以外にもあれば同窓会が紹介によって欲しい。 なお木製標柱は 年月が経過し朽ちている。

OA 機器・事務用品・オフィス家具

平澤ビジネス 有限会社

濹 代表取締役 平 和 夫(泉丘15期)

> 〒921 8102 金沢市西大桑町17 25 TEL (076) 243 2647(代) FAX (076) 245 3889

関西一泉同窓会総会

第20回関西一泉同窓会総会は平成12年6月3日 (土)午後2時~5時、大阪市城見のパノラマビアレストランで開催された。金沢からは徳田寿秋校長(泉丘12期) 恩師の西谷朗先生、一泉同窓会会長小倉周一郎(泉丘7期) 副会長の普神貴行(泉丘2期)水谷昭(泉丘7期)事務局長正村健三(泉丘4期)が来賓として出席した。

4月21日逝去された前関西一泉同窓会長柚木学 氏(一中54期)に黙祷を捧げ、会が始まった。新

会長に片瀬貴文氏(一中55期)が推挙され、満場一致の拍手で決まった。氏は国鉄マンで若かりし頃東海道新幹線の設計に携わった。その後フランス留学、アフリカのザイール政府の鉄道建設に従事されてきた。現在は



一中54期 宮 崎 欽 彌

中央復権コンサルタント(株)という建築土木設計の 企業を経営されている。

今年の出席は80人台と昨年より少なかったが会は和気藹々と進行した。乾杯音頭は出席者最長老の竹内豊八氏(一中43期)で、戦時中ビルマなど各地を転戦された話があった。閉会の言葉は副会長の辻本初江さん(泉丘4期)であった。



大地の総合コンサルタント



株がホクコク地水

代表取締役 尾 蔵 博(泉丘15期)副社長

〒921 8021 金沢市御影町25 1 TEL(076)代241 7158 FAX(076) 243 5589

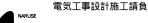
関東一泉同窓会総会



平成12年度関東一泉総会・懇親会は東京大手町の改装なったサンケイプラザで、10月27日(土)18:30より開催された。出席は130人余り、通知は金沢の事務局より5,125通出した。月末決算期のせいか昨年見えた銀行系の人たちの姿がなかった。不況の長いトンネルが抜けず、巷間不良債権の山と噂される大企業の方の姿も見え、同窓の皆さんの日頃のご辛苦が伝わる。

北岡健一(泉丘21期)関東総会代表幹事の開会の辞の後、河毛二郎会長(一中43期)の洒脱な挨拶。会長は、この夏随筆集『私のカウントダウン』を刊行。往年の金沢一中水泳部出身らしくますます達者で意気軒昂。徳田寿秋校長(泉丘12期)の熱情あふるる学校近況報告。水谷昭一泉同窓会副会長(泉丘7期)の挨拶があって、今や国際的にも名の上がりつつある加賀の名酒「手取川」「天狗舞」で鏡割り、乾杯が行われ、開宴となった。立食だが、金沢の芝寿司を頬ばり、ビンゴゲ・ムの景品にも金沢の産物があり、皆満足して解散する。来年度は22期が幹事当番。





成瀬電気工事株式会社

代表取締役社長 成瀬 巌(泉丘15期) 代表取締役副社長 成瀬亮太郎(泉丘39期)

〒920 0061 金沢市問屋町2丁目17 TEL(代)(076)237 4181 FAX (076)237 4848

松任一泉同窓会総会

2000 (平成12)年11月18日6:00 松任グランド ホテル

一中 OB13名、泉丘 OB52名の出席で 2 年ぶりの和やかな松任一泉総会であった。徳田寿秋(泉丘12期)泉丘高校長、水谷昭(泉丘 7 期)副会長、正村健三(泉丘 4 期)事務局長が来賓として出席。一中の先輩の方々が一中生時代の剛健な青春の思い出を次々に語られ、会は大いに盛りあがった。早朝 5 時の汽車に乗り金沢駅から学校まで歩いて通ったこと。昭和 2 年に当時としては珍しい50メートルプールが松任に建設され、水泳が巧みになったこと。戦後昭和22年第 2 回国体で、夏の水泳競技が大阪へ行きそうになったのを、金沢平野の米を提供するということで、逆転した話など、語りて尽きざるものがあった。



鶴来一泉同窓会発足

2001(平成13)年2月25日鶴来町レッツホ・ルにて鶴来一泉同窓会設立総会が開催された。会員になった200名の内、出席者は80名で、来賓に一泉同窓会副会長多田拓也氏(泉丘25期)を迎えて、盛大に行われた。12年11月より設立準備会が開かれ、発起人30人が、名簿を独自に編集し、5地区に分かれて、一軒一軒訪問、会員を募集した。会員間の親睦を目的に、鶴来町の発展の一翼をになうことも念頭に置いて活動を始めると、予想以上に反響が大きく、一同自信をもって勧誘ができた。在住者卒業生8割に賛同を得て発足し、設立総会で初代会長に一中48期の岡本永雄氏が就任した。

終宴にあたって一中泉丘両校歌を斉唱し、今後 の発展と活躍を誓い合い散会した。次に続く支部 設立を期待し、ここに報告します。

辻貴弘(泉丘30期)記



新世紀は君が主役 作詞 関 明(一中55期) 産経新聞〔21世紀の歌〕応募 優秀賞受賞作品

新しい 日本を 描いてほしい 君の 明るい その目で 描い てほしい

老いも若きも 活き活き笑う 人間(ひと)に優しい 世の中を さあ 新世紀は 君が主役だ ホップ ステップ ジャンプ 新しい 日本を 育ててほしい 君の 暖かい その手で 育て てほしい

澄んだ大気と きれいな流れ 住むに適した スペ・スを さあ 皆仲良く 汗を流そうよ ホップ ステップ ジャンプ 新しい 日本を 創ってほしい 君の 自由な その気で 創っ てほしい

人間を愛する こころに溢れ 永久(とわ)に栄える わが国を さあ 新世紀は 君のステ - ジだ ホップ ステップ ジャンプ

株式会社中村ポンプ

代表取締役 中村 進(泉丘15期) 中村研太郎(泉丘41期)

> 〒921 8054 金沢市西金沢1 93 TEL(076)242 1770 FAX(076)242 6407



上 坂 審 一(泉丘15期)

〒920 0932 金沢市小将町5番10号 TEL(076)264 1511 FAX(076)234 2475

同窓生の集い

【一中39期(昭和7年卒業)七桜会大会】

七桜会・2000年大会で最終回

平成10年5月学友17名が集まって開催した前回 の大会で、加齢とともに年々出席者が減少し今後 大会の開催は困難だろうが「西暦2000年にはまた 会おう」と互いに励ましあい再会を願って大会の 開催を切望したことであり、平成12年5月24日粟 津温泉 ' 辻のや花の庄 ' で「七桜会西暦2000年大 会」を開催した。今回の出席者は前回より更に少 なく遠来4名、地元6名の10名となった。

冒頭に物故された学友のご冥福を祈り黙祷を捧 げた後、桜章時代の思い出や四方山の話に一夜を 楽しく和やかに過ごした。

同期の卒業生180名、物故者137名(内戦没者18 名)連絡のとれる者27名であるが、八十路を半ば 過ぎ参加者は激減している現状から今後大会の開 催は至難と思考され、今回をもって最終とするこ (村田記) とになった。

出席者(関東)越村衛一、高井誠二、高松一吉、(九 州]竹下六都夫、〔 北陸]浅香鉄次、岩脇他計雄、 塩田和一郎、三須外男、山瀬芳男、村田尚一



【一中42期(昭和10年卒業)十桜会】

会誌『十桜』29号発刊 平成12年10月17日、箱根湯本富士屋ホテル

〔北陸、関西〕浅本行雄、柿木義夫、駒居三郎、

○下水道への接続工事 ○トイレ・お風呂・台所など 水囲りのリフォーム工事 ○給排水設備メンテナンス ○浄化槽工事及びメンテナンス



株式会社

代表取締役社長 桶

230 OO 0120 644

支店



坂本六郎、高畠有幸、諸江敏夫、酒井正、〔関東〕 石田勝雄、上島外二、中谷郁夫、松本順、山本欣一、 米山兵吾、久保木信夫、鴻野布史子、坂部重之夫妻、 久保田全俊夫妻、古澤英雄夫妻

【一中43期(昭和11年卒業)関東四三会】

昭和11年金沢一中を卒業、関東方面に在住する 同窓生でつくる金沢一中四三会では10月11日東京 駅地下「椿山荘」で秋の集いを開いた。

四三会では長年の間は時々、50年頃からは毎年 一回会合を続けているが、最近は会員も減少し今 回の出席者は総勢14名中9名であったが京都から 長岡寛厚君が馳せ参じてくれた。一同お互いの健 康を祝い亡き友を忍んで懐かしい思い出話や近況 に時の経つのも忘れての楽しい一時を過ごし、今 回欠席の健康を損ねた方々も次回は是非回復出席 されんことを祈って散会した。 (松林記)

出席者は河毛二郎 (関東一泉同窓会長)島誠夫、 長岡寛厚、橋場堅、藤田(富)正辰、村本健次郎、 山田義男、吉村清三、松林理彦



カメラ・映像機材・研究写・材料 スタジオ・調剤薬局・漢方相談



嶅

代表取締役社長 英

健 一(15期)

香林坊店 金沢市香林坊 2 **五**(076)262 0177 金沢市香林坊 1 丁目 1 **五**(076)220 1515番 アトリオ店

【一中45期(昭和13年卒業)桜誓会】

関東桜誓会の集い

東京とその周辺在住の昭和13年卒業の級友は、この3~4年の間に約10名が他界し、現在は20数名となった。従来は年2回、桂木鉄夫君の関係の八重洲倶楽部で夕食会を開いてきたが、2年ほど前からは、小児外科の世界的権威である駿河君の診療所内の会議室で昼食会を催している。

出席者は毎回10数名、ときどき金沢から石崎、 荒川君らが金城漬・どぜうの蒲焼・きんつばなど 懐かしい故郷の味を土産に参加してくれる。最近 も両君が一中の校歌応援歌集、応援旗や本多が森 の旧校舎・厳霜碑前での卒業記念写真、戦死者名 簿等々持参で錦上花を添えてくれた。同君らは応 援旗を振りながら校歌や応援歌を高唱し、かつて の桜章健児の意気軒昂ぶりを再現しようと期待で でいたようだが、診療所の一角ではそれもならず、 石崎君の偏向歴史教科書問題など憂国の熱弁を聴 き感銘を受けたことである。

昨年は7月に、喉頭癌で声帯を失った中村史郎 君が発声指導の海外での奉仕活動で外務大臣表彰 を受けた直後に急逝した。2月の山口九郎君につ いでの訃報でまた寂しくなった。

まさに諸行無常。齢80歳ともなると会合での話題も、自ら「どうすれば死ぬまで元気でおれるか」など駿河博士を頼っての健康問題に頼りがちだ。しかし、日本の現状はあまりにも情けない。このままでは滅亡するかもとの危機感すらある。21世紀を迎えた今、祖国の未来を信じて命を捧げた級友たちの霊に報いるためにも、こんな話題に興じていてよいのか。私たちは何をすべきか。何ができるのか。

こんな焦りにも似た空気の漂う昨年末の昼食会



の席上、桂木君がその社会的貢献により秋の叙勲 の栄に浴し、そのお祝ができてお互いに元気が蘇 ったことは本当によかったと思う。

今年から会合は年3回にする予定。(安田記)

【一中45期(昭和13年卒業)桜舊会】

健在なり、傘寿の桜誓会(金沢)

私ども桜誓会は昭和13年3月の卒業で、本多町校舎に4年半過ごし、昭和12年夏休みに引っ越して、富樫の新校舎最初の卒業生です。卒業60周年を一昨々年(平成10年)山代温泉で藤田誠一先生ご夫妻をお招きし、会員29名参加で盛大に催しました。藤田先生(フジコ)は私どもが13才で憧れの金沢一中へ入学したときからの担任で、一昨年亡くなられましたが、その先生が我々の卒業60周年記念同窓会にご健在でご出席頂き、60数年前の級友の名前をあげながら話されたことは本当に感激でした。

今年は正月13日畳の上での新年会、朝から降り み降らずみの雪の日でありましたが、出席者19名 定刻に全員着席、世話人堀口君の挨拶で「今年は 全員80才になるのです」ということで更なる健康 長寿を記念して日本酒で乾杯をしました。

卒業したときは185人と思いますが、戦死が前後の期を通じて一番多く38名。途中で転出した人なども含めて一時は200人近くの名簿になっていたのですが現在連絡の取れるのは74名です。不祥者は2名。

ー中卒業の各期は年次に桜をつけて八桜会とか 十桜会とか言うのが多いようですが、私共は本多 の森の桜樹のもとに、友情と団結を誓おうと桜誓 会にしたのです。毎月13日に金沢ニューグランド ホテルで正午から昼食懇談会をやっており、また、 年2回のドライブー泊旅行をやっております。昨



KUZE

●類久世ベロ-ズ王業所

代表取締役 久世 靖(泉丘16期)

本社 / 〒929 0343 石川県河北郡津幡町南中条リ74 1 T E L(076)289 4740 E-mail: y-kuze@kuze.com F A X(076)289 2136 URL http://www.kuze.com/



岡本小児科医院

院長 岡本 力(泉丘16期)

金沢市入江1丁目616 1 **291** 9511代 年の秋は10月23日、24日11名が車3台に分乗、五箇山泊りで岩魚や手打ちそば、山菜に舌鼓を打ち、翌日はスーパー林道で紅葉をめでたが、8名は三方岩登頂で健在ぶりを発揮しております。

昨年(2000年)の一泉同窓会総会には11名が参加しており大正ロマン時代に生れた桜章健児は今なお意気すこぶる健昴です。今年も仲間入りをよるしくお願い致します (石崎記)

【一中46期(昭和14年卒業)】

『厳霜年報』上梓と総会

昨年の山中「よしのや依緑園」の総会で、傘寿(80才)記念にクラス小冊子『厳霜年報』をももならたってみるかということになった。をもれならやってみるかということになった。基金も長れならか。編集委員の気苦労は尽きず、案ずの表さまであるが「楽したの基金を受ける。ところが「楽したの事を送り発動となり41篇の玉稿集まり、くくの事を送り発動となり41篇の玉稿集まり、くくの基金も積まれた。目はカスミ、く終して、刊容の上の基金も積まれた。目はカスミ、く終して、刊容の本の本のをは望外の書のできたのは望外の書がであるのできたのは望外の表がとしい金沢一中の校旗をトップに80年に亘るたいしい金沢一中の校旗をトップに80年に可るといい金沢一中の校旗をトップに80年に可るといった。

『厳霜年報』8号発刊を受けて平成12年度の傘寿 記念総会は、7月23日、辰口温泉・たがわ龍泉閣 で開催した。東京・大阪方面からの参加を含め出 席28名。出席者には製本したばかりの『厳霜年報』 が手渡された。懇親会上の今年の特徴。われわれ が一中一年坊主のとき、山本協一(ポンプ)先生 から教えられた世界の名曲「菩提樹」「ロ・レラ イ」が期せずして歌われたこと。多感な少年時代 に心の琴線を動かした名曲は、いくつになっても 心に残っているもの。「音楽に国境なく年代なし」 とは宜なるかな。「校歌」。応援歌は「香雲」「猛 勇」など。年報を出したら元気が出たようだ。後 は部屋に集まって車座のおしゃべり会。懐かしい 昔話は夜のふけるまで続けられた。 (太田記) 出席者(関東)吉田喜市、長沢剛正、村上淳男、 西田勝次、尾本康次郎、(関西)細川熙、新宅健雄、 (北陸)荒木繁行、石立実、稲松敏夫、梅林清、 大垣秀邦、太田定夫、片岡茂太郎、金丸直治、

紺谷医院

院長 紺 谷 一 浩(泉丘16期)

石川県河北郡七塚町字木津へ12の1 TEL(076)285 0020 金谷与平、瀬川成、寺内良雄、登谷栄作、中野輝一、 中村政男、鍋谷太市、広岡徳、藤井欣一、深田元夫、 松本忠男、松本豊次、宮本敏之



【一中47期(昭和15年卒業)十五桜会】

60周年記念同窓会

昭和15年に一中を卒業して今年は60周年になるが、昭和12年夏、3年生の時本多町から富樫(現泉野出町)に移り、そのときに植樹した桜の樹は今や大木になり、桜花爛漫の4月10日厳霜碑の前に今年喜寿を迎えた同期生26名が参集した。卒業後敗戦まで益々戦争が激しくなり、沖縄の4名をはじめフィリッピン、セブ島、中国、太平洋上等21名の級友が戦死した。同期生の宮司大森君の斎主で東京の福岡君が代表献花して亡き級友の霊を慰めた。

この慰霊祭に昨年一月急逝した中川智雄君の兄上、中川松雄氏(一中43期)も参加され、智雄君の自分史『私の履歴書』192頁を贈られた(母校図書室に学校長を通じて寄贈済)。セブ島の激戦地で死生の間を彷徨した智雄君の姿が生々しく書かれている。

午後3時迎えのバスで同窓会場加賀本陣「山下屋」へ移動した。はじめに姫と一緒に殿達の写真撮影をして、引き続き謡曲を得意とする新田、大屋、中條、松林の4君により「高砂」四海波を謡い十五桜会の幕が開けられた。

大蔵、福岡両幹事から、金沢、関東、関西地区のこの1年間の同期の動向について報告があった。昨年から今年に入り、中川智雄、水島博、上田一郎、村田三郎、辻定美、の五氏が他界され、みんなでご冥福を祈った。この結果、同期現存者は80名に減少した。60周年・喜寿を記念して「15桜会、喜寿一言集」が新田君の努力により発刊され、80名の75%以上が執筆した。東京の中島君の音頭で、

山辺動物病院

院長 山 辺 泰 臣(泉丘16期)

6076-291-2322

〒921 8013 金沢市新神田1 7 2

ー中卒業60年を祝して「濁り酒」で乾杯した。その後、全員一言ずつマイクを通じて語った。77才の喜寿とは言え、気持ちは一中時代と少しも変わっていないが、体力の衰えは如何ともし難いという結論に達したが、傘寿を目標にして健康管理に努めようということになった。最後に大西君のバイオリン、上田君のハ・モニカの演奏で校歌を高らかに合唱した。

出席者 池保夫妻、石崎幸男、石橋鐐造、 上田栄一、大蔵吉夫、大西光健、大森俊夫、 大屋信之、大谷渉、北川伴次、木村久吉、島村隆、 鈴木信義、中條英一、中島章夫妻、中村吉次、 縄野茂信、新田正之、深見信一、福岡二郎、 松林禧作、森一男、山口尚三



【一中54期(昭和21・22年卒業)関東朱木会】

関東朱木会・21世紀

終戦翌年の昭和21年と22年に一中を四卒、四修、 五卒で出た者及び同期生で構成する「朱木会」東 京支部の21世紀第1回の会合が2月24日、東京世 田谷区代田橋の大原会館で開かれた。

出席者19名。欠席通知があった者35名、死亡1名。最近、全国で他界する級友が相次ぎ、最初に彼等の名前を読み上げて黙祷。今年は巳年なので大部分の者は6回目の年男である。戦中戦後、皆苦労したのでまさか21世紀を見ることができるとは誰も思っていなかったが、一同年金生活に入るほどまでに長生きしてきた。

しかし中には、まだ現役の者や定年退職後に東 大大学院に入学して修士号を取得した者、不良債 権処理に苦労している者などがあり、癌、白内障、 前立腺、糖尿病などが共通の話題になってきた。

それでもパソコンでメール交換をする者が増え てきたのが最近の現象である。まだまだ隠居では ない。再会を約して散会した。 (宮川記)

出席は、石崎定男、石田清、糸多宗人、井上昭久、 泉谷勝巳、岡本佼、川久保昇、五宝外美雄、渋川勇、 須田吉之、高尾明弘、氷田正男、備前祐次、 丸山一郎、宮川隆泰、村田雅弘、本島大造、 吉村恒夫、楽満一輝

【一中55期(昭和23年卒業)55会】

古稀記念同窓会

金沢一中55会(会長松本進)は、6月10日湯涌温泉"かなや旅館"で古稀記念同窓会懇親会を行った。当日は百万石まつりの行列が行われ、遠方から来沢の希望者へは見物入場券を世話して楽しんで貰った。また当会初めての"夫人同伴"の4組を交え、東京、大阪など遠地からも21名、計52名がまだまだ若いところも見せて大いに賑った。

会長挨拶の後51名の物故者への追悼黙祷を捧げ、 幹事の会務報告で級友たちの動静を伝え、関東代 表鶴屋一郎氏の音頭による乾杯、古くなったら名 前と顔が一致しないということで自己紹介、祝宴 のうちに近藤外志雄、下村佳生らかつてのリ・ダ ・の旗振りに校歌、応援歌を叫び、今回関西一泉 同窓会会長に推挙された片瀬貴文関西代表発声に よる万歳三唱、川北副会長の挨拶で幕を閉じた。 久しぶりの再会とあって深夜遅くまで幾組もが別 室で語り合う姿も見られた。

翌朝、夢二記念館や兼六園を中心に名所の催し物に鑑賞に心はずませる者など、三々五々互いに別れを惜しみながら散会した。 出席者 - 石川三郎、石橋雄二、上田総一郎、田村裕喜男、太田忠夫、沖山滋人、乙村董、四十万谷与之、笠松茂雄、片瀬貴文、金井一郎、小牧雅彦夫妻、上谷親夫、川北篤、河智利直、

鶴屋一郎夫妻、河村賢一、松本進夫妻、小西昭、



住宅。マンションのリフォーム設計施工。店舗設計施工。別注家具の設計制作 オーダーカーテン。カーペット、クロスの張り替えなど住まいのコンサルタント



株式会社 誠和インテリア山本

代表取締役 山 本 武 生(泉丘16期)

〒920 0965 金沢市笠舞 2 2 12 カリヨン笠舞 2 F TEL (076) 222 8881 FAX (076) 222 3611



Kanazawa Gosen 金沢合繊株式会社

代表取締役社長 遠 藤 幸 四郎 (泉丘16期)

本 社 〒920 8520 金沢市北安江町374番地 TEL(076)231 5000(代) FAX(076)223 6399 近藤外志雄、紺谷晋、関明、横井健夫妻、斉田直行、 沢枝茂、柴田豊、下村佳生、副田清夫、経田政人、 出口善人、富樫 隆、利岡正、中川了一、中橋寿雄、 成瀬暁道、西田芳、貫井正樹、平松健治、藤田栄一、 星孝次、前田弘一、宮岸昌朗、宮下三郎、山田浩、 湯沢重直、吉川正美、林永

【泉丘4期(昭和27年卒業)総会】

平成12年9月11日(日)~12日(月) 粟津温泉『法師』77名出席

我々4期生会の総会・懇親会は昭和45年以来節目節目で開催してきたが、平成9年の和倉温泉『加賀屋』で45周年大会の後、平成14年に50周年大会を開く予定であった。しかしながら65歳も過ぎて年ごとに高年齢層に近づきつつある事実と、すでに第一線を引退して自適の生活を送っている友も多くなって、「この年で5年間隔はながいし、元気なうちにできるだけ参加したいので、中間にやったらどうか」とハッパがかかり急きょ今回の開催となった。

当日は、あいにくの雨で出席者の出足を心配したが、関東、関西はじめ遠方からも多数の参加があり、役員・幹事も胸をなでおろした。

懇親会に先立ち総会が開かれ、まず、今日までに亡くなった64名の物故者に黙とうを捧げた。次に鰐淵会長が挨拶、酒井幹事の経過報告、中村会計の収支報告、さらに関東、関西、中部各支部長の報告を受けて総会終了。記念撮影の後、大広間「白楽天」で懇親会に移った。

宴会場では、校旗を掲げ、校歌や応援歌など懐かしいメロデイのバックミュ・ジックの流れる中、宴たけなわ、それぞれ若かりし青春の思い出を語り、学生の頃に戻った気持ちで、なごやかに、楽しく、飲み語り、時間のたつのも忘れて久しぶり



-2001年夏・新設開校-

美大・芸大を受験希望の方、おいでましたら御紹介下さい



代表 広 瀬 靖 久 (泉丘16期) (専門学校 ESSE テクノカレッジ金沢・学校長) に友情を暖め合った。夜更けて、別室での二次会では、カラオケやダンスに興じて、本当に楽しい一夜を過ごし、再来年の50周年記念大会の再会を約して別れを惜しんだ。 (酒井記)

【泉丘10期(昭和33年卒業)泉寿会総会】

恩師 6 氏も出席、泉寿会が新年会 泉丘10期・泉寿会は、2001年1月6日、金沢市 のホテル KKR 金沢で70人が出席して臨時総会と 新年会を開いた。

臨時総会は昨夏、幹事会で選出された高橋威会長ら新役員と、総会を2年に一度とする会則改正(理由は還暦も過ぎ、5年に一度では寂しいから)の承認が主で、全案件が満場一致で承認された。新年会には、松田春海、西野哲也、清水隆久、浜名久雄、新田泰久、普神貴行先生にご出席いただき、先生方の近況や、関東・関西泉寿会の活動報告などを交えながら杯を重ね、楽しいひと時を過した。

泉寿会では初秋に加賀温泉で、1泊2日の予定でさっそく総会を開くことにしており、ゴルフコンペと併せて準備を進めている。



関東泉寿会 (大西忠会長)恒例の新年例会は、 1月28日、東京・錦糸町のロッテプラザで開かれ



内科・神経内科

(法) かねだ医院

院長 金 田 平 夫(泉丘16期)

〒929 1215 石川県河北郡高松町東町ヲ2の6 医院(東町)☎(076)281 1164 た。金沢からは高橋威会長ら3人が出席。また、 茨城県に引っ越された恩師の松川一雄先生御夫妻 をお招きし、過去最高の43人が集まり、盛大でに ぎやかな例会となり同窓の和を広め合った。

関西泉寿会(嶋田平一会長)2000年4月14~15日、シ・サイドホテル舞子ビラ神戸で開催。関東・金沢からの出席も含めて33名の参加。神戸市助役の鶴来紘一さん(35H)の講話「阪神大震災と神戸市復興について」の後、懇親会。翌日は、花博へ14名、ゴルフ8名、その他観光コ・スへと。再会を約して各日程を楽しんだ。(中山一郎記)



【泉丘22期(昭和45年卒業)総会】

30周年記念同窓会

平成12年10月14日金沢ニューグランドホテルにて開催した。恩師10名をはじめ、卒業生70名が集まった。12年度母校泉丘高校 PTA 会長の澤本敏君の開会の挨拶、8名の物故者の黙祷に続き、西野哲也(ペンギン)先生、楠禎一郎(パチ)先生、漢文の鏑木悠紀夫先生、高橋威(イバリ)先生らが昔と変わらぬお元気な姿で挨拶に立たれた。22期の一番出生マドンナ広岡立美県議会議員が、熱っぽく福祉問題を語る姿は「夢・情熱」を失わない我々22期生を象徴するものであった。当日、都合により出席できなかった友とともに5年後の再会を誓い、閉会した。(山崎 茂・現母校 PTA 会長)



〔第24回桜美会小品展〕

2000年5月4~9日、下本多町金沢電気ビルエルフ金沢ギャラリーで開催。出品は恩師2点、一中20点、一中泉丘3点、泉丘22点、合計47点であった。泉丘出身者の出品数が一中先輩を上回るようになった。桜美会は一泉文化の拠点の一つである。より若い泉丘勢の桜美会への加入出品が望まれる。

[一泉桜美会]

「第28回一泉桜美会」は、11月8日~12日の5日間、名鉄丸越カトレアサロンで開催され、洋画、書、彫刻、木版画、日本画、水墨画、クレパス、陶芸、写真、押し花絵、俳画、染色、組紐、造形など、例年と変わらず見応えのある多彩な作品が



会場を飾った。

同展には、名誉会員・堀義雄氏(一中42期)をはじめ、一中、泉丘卒業生ら会員100余名のうち76名が出品、"美の同窓会"の名にふさわしく年代を超えて集う桜美会の伝統行事は、多くの入場者を迎え今年も大盛況であった。

桜美会事務所

〒920 - 0961 金沢市香林坊 1 - 2 - 40 教育会館内 藤井肇 ☎076 - 223 - 1444 OB会への加入申込みは上記事務所、または同窓会事務局へ。

母校への寄贈作品



「ロバと子供」 判 三教(泉丘4期)

寺内良雄(一中46期)

「ひかり」

泉丘高等学校講演会

[国際化と人権]成 奎昌氏(泉丘4期)

人権教育は重要な教育課題でもあるので、泉丘 高校では毎年一回人権にちなんだ講演会を開催し 学習する。今年は在日韓国民団石川県本部から成 奎昌氏(泉丘4期)に来校を頂き講演を頂いた。

講演内容は、歴史的背景から入り、弥生時代人骨の遺伝子レベルでの両民族の同一性、韓国併合以来の日本による創氏改名などの植民地政策、在日韓国人社会の形成と差別の解消過程、残っている問題点等に触れた。次に、オモニ(母)と母屋など言語の共通性、感情をあからさまに表わす韓国人と、あからさまに出すことを恥じる日本人などの精神的風土の異質性に言及した。

結論は、文化の違いを認識して相異なる文化を 尊重する態度を養い、国際化の進展する現代にお いて、身近から共生社会を建設しなければならな いというものであった。

泉丘高校は韓国修学旅行を行っているが、韓国の現状はもちろん、過去の両国・両民族の歴史的経緯、文化交流などを勉強するよい機会になっている。特に韓国の高校訪問では実用英語を自在にこなす同年配の韓国の若者に出会い、英語力の差を知らされるなどよい刺激になっている。

「災害そして神戸」鶴来紘一氏(泉丘10期)

金沢大学工学部土木工学科を卒業後、神戸市役所に勤務、現在同市助役の鶴来氏は、95(平成7)年の淡路阪神大震災のおりは、神戸市都市計画局長であって震災から再建に至るまでの行政側の当事者であった。

講演は、神戸の中世以来の自然との戦いを通じての貿易港の構築の歴史から始まった。

震災時の状況や震災以来の市民と行政側、政府



と地方自治体、ボランティアと被災者の関係、都市と被災者の関係、都能ともなう困難などではの特定ではの内容はではの内容はではの内容は関重があり、法学や行政を表する側面があり、とっては異なる側面があり、とっては異なる話であった。最後に出さな話であった。最後に出さ

れた人と人のつながりを強調するコミュニティ形成や、ボランティア団体の活動の話などは現役生徒に感銘を与えたようで。感想文にはそのことが多く触れられている。

若手の先輩を招いて一年生に進路講話

2000年9月22日、文系か理系かの選択を控えた1年生対象にOB4名を招いて、高校生時代の生活、それぞれの職業についた動機、現在の仕事の内容など多岐にわたる話をしてもらった。与えられた時間は10分余りではあったが、後輩生徒の視野を広げ、漠然とした将来志望に対する強力な動機づけになり、きわめて好評だった。

山村三信氏(泉丘34期・水泳部・映画研究部) 一橋大法学部卒業。塾講師から司法へ転換し、98 年から金沢の法律事務所に勤務。弁護は民事中心 だが、テレビドラマの弁護士物とは異なり、雑務 が多いという。生徒にとっては知る機会のない若 手弁護士の仕事の話が興味を引いた。

横田佳政氏(泉丘37期・卓球部)早稲田大学教育学部卒業。MRO報道部記者。報道関係の話が中心であったが、記者になる夢をあきらめずに突き進み、ついにその道を実現したという部分は印象的だった。

正元敏之氏(泉丘38期・バスケットボール部) 金沢大学工学部卒業。三谷産業のIT関連で営業の仕事に活躍中。泉丘在校時代は「部活動をやってない連中に負けてたまるか」と勉強にも打ち込んだという。部活と勉強の両立に悩む現役にとっては貴重な体験談。

桜吉啓介氏(泉丘39期・陸上部)金沢大学医学部卒業。金大医学部附属病院整形外科医局に外科医として勤務。現業の仕事の話とともに医者として持つべき使命感や、同窓の医者の意見も紹介するなど、医学部志望者にとっては傾聴すべき内容。



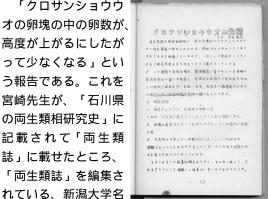
35年ぶりの生物部

科学校泉丘の歴史

平成12年9月、同期の谷君(谷歯科院長)より 突然電話が入った。「北市省三先生(生物部指導 教官)がお前を探しとるぞ。生物部の動物班でや っていたクロサンショウウオ研究のことで聞きた いことがあるそうだ」との連絡であった。

早速、北市先生のご自宅を訪ねた。「市原君、 実は宮崎光二先生(一中54期・元泉丘高校長・元 いしかわ動物園園長)から手紙が届いたんだよ」 内容を読んでびっくり、35年前、高校3年時の研 究発表が、「市原論文」として私自身全く知らな い間に、「両生類学会」で引用されていて、それ が日本で最初の研究発表だとのことであった。35 年前に泉丘高校生物部の年間誌『セコイヤ』No11 (1965) P, 4に記載した研究報告である。

「クロサンショウウ オの卵塊の中の卵数が、 高度が上がるにしたが って少なくなる」とい う報告である。これを 宮崎先生が、「石川県 の両生類相研究史」に 記載されて「両生類 誌」に載せたところ、 「両生類誌」を編集さ



誉教授の岩崎久彰先生 (「サドサンショウウオに ついてのメモ」両性爬虫類愛好会誌№ 6:27-30 (1976)で引用されている)から「両生類誌」に

高校の生物部の研究例として記載した いので、何故、このような研究テーマ を選んだのか、研究上のエピソ・ド、 当時の調査地は今どうなっているのか、 を書いてほしいとの依頼だった。『セ コイヤ』は今残っているのか?

一泉同窓会を訪ね、生物教官の小座 間先生を紹介して頂いたところ、「セ コイヤ、残っていますよ!読ましても らったけど、昔の生徒すごいわね!あ んな研究して、勉強して!」 コイヤ』№11 (1965)「日本科学賞落選 研究」は残っていました。

しかし、残念ながら大量に蒐集した

市原唯男(泉丘18期)

「昆虫標本」は一 箱を残して全滅し ていました。だが 残った1箱に16期 ~ 19期の採集者の 名前が残っていた のです。非常に懐 かしい名前です。 そこで谷君と相談、 北市先生を囲んで 昔に戻ろう。昨年 12月27日金沢周辺



にいる OB に声をかけたところ、16期2名、17期 2 名、18期6名、19期3名が集合。

あの頃、本当に勉強もろくにしないで、山や河 や海ばかりへ行っていた頃の話、70周年文化祭の 話、白山登山の話に花が咲き、一挙に35年前に戻 り非常に楽しい再会でした。

ちなみに、35年前の金沢近辺の調査池のその後 は見るも無残に、自然は破壊されていました。

3 箇所 池そのものが残っていない。 池に水がない。 2 箇所

池がすべてコンクリートになっている。

2 箇所 池にブラックバスが放たれている。 9箇所 今でも自然が残っていた池 2 箇所 生物をこよなく愛した青春を楽しんだ人間には、

残酷な現実です。「自然を守ろう!」



35年前(16~18期)の生物部

平成12年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	寄贈者
私の履歴書	中川智雄(一中47期)	中川智雄(一中47期)
一医師の生涯〔前編・後編〕	中川松男(一中43期)	中川松男(一中43期)
十五桜会喜寿・一言集	十五桜会(一中47期会)	十五桜会(一中47期会)
本田一杉(一中21期)選 西村曾青遺句集	本田泰三編	本田泰三
歌集 銀桃	喜多昭夫(泉丘34期)	喜多昭夫(泉丘34期)
整体術といえば健友館	越田昭(泉丘17期)	越田昭(泉丘17期)
単身赴任物語	中山登紀子(泉丘4期)	中山登紀子(泉丘4期)
厳霜年報Na 8 傘寿記年号	一中46期クラス会	一中46期クラス会
老いのすさび長寿も芸のうち	登谷栄作(一中46期)	登谷栄作(一中46期)
お‐い、チャン!(小説・原稿)	関明(一中55期)	関明(一中55期)
ちょっと待ってそのクスリを飲む前に	吉田均(泉丘18期)	吉田均(泉丘18期)
すぐそこまで来ていながら	杉森久英(一中36期)	相坂一成(一中58期)
毎田周一全集第二巻、第四巻、	毎田周一(一中31期)	相坂一成(一中58期)
上田作之丞に於ける師道の研究〔郷 土先賢叢書〕	毎田周一(一中31期)	相坂一成(一中58期)
精神の旅人 - 嶋野三郎伝(一中31期) ナウカ社〔窓〕17冊	米重文樹	購入
藤井武全集第1~7巻 藤井武全集第8~10巻	藤井武(一中18期) 藤井武(一中18期)	相坂一成(一中58期) 購入
技術者になるということ	飯野弘之(泉丘4期)	飯野弘之(泉丘4期)
動詞時制の研究 英文法汎論 精説英文法汎論第一巻	細江逸記(一中教諭) 細江逸記(一中教諭) 細江逸記(一中教諭)	購入 購入 購入
ロレンス短編集	上田和夫訳(一中52期)	購入
寛厚遺文集	長岡寛厚(一中43期)	長岡寛厚(一中43期)寄贈
私のカウントダウン	河毛二郎(一中43期)	河毛二郎(一中43期)寄贈
真清水	石川県立第二高等女学校同窓会 真清水会編	越村鐐子 (二高女37期・泉丘 4 期)
人われを漢奸と呼ぶ - 汪兆銘伝 -	杉森久英(一中36期)	相坂一成(一中58期)
明治の宰相 - 伊藤博文伝 -	杉森久英(一中36期)	宮川隆泰(一中54期)
ベトナム日記	芝田進午(一中54期)	宮川隆泰(一中54期)
花落ちて未だ掃かず	坂野雄一(一中54期)	宮川隆泰(一中54期)
教育勅語謹解	草鹿任一(一中13期)	宮川隆泰(一中54期)
東海道新幹線	角本良平(一中44期)	宮川隆泰(一中54期)
石川県党の戦後の記録(共産党)	深井寛(一中54期)	宮川隆泰(一中54期)
日本の建造物(共著)	山田善一(一中54期)著者代表	宮川隆泰(一中54期)
千虚一実に如かず	土肥孝治(一中58期)	土肥孝治(一中58期)
書き言葉の告白(遺稿集)	岡島厚平(一中45期)	岡島閑子
農業図絵(日本農書全集)	土屋又三郎 - 解説・清水隆久(元ー中泉丘教諭)	詠節子(泉丘教頭)
十桜29号	金沢一中42期会	金沢一中42期会幹事古沢英雄
厳霜年報 - 傘寿記念号№ 8	金沢一中46期会	金沢一中46期会
食べて美味しけりゃすべてよし	杉森久英(一中36期)	相坂一成(一中58期)
錆びたサ・ベル	杉森久英 (一中36期)	相坂一成(一中58期)
わが後に洪水あれ	杉森久英(一中36期)	相坂一成(一中58期)
加賀宝生花の舞	小林弘子(泉丘12期)	小林弘子(泉丘12期)

《我が青春に悔いあり》

中野二郎(一中42期)

同期十桜会の葉書が来る頃は夏の甲子園の地方 予選の始まる頃で遠い昔の青春を思い出します。 4年生の時は5年生に渓内、粟生、林藤の諸兄が 居り、優秀な選手がそろって北陸3県ではNa1と 自負して居り、甲子園に行くものと思って居りま した。石川県の第一次予選に優勝し北陸3県の第 2次予選で相手を甘く見ていつでも勝てると思い、 また誰かがやってくれると思っている内に試合が 終わり負けてしまいました。期待が大きかっただ けに責任をとった恩師藤田先生を丸坊主にさせて しまい大いに反省しました。

5年生になり、夏の予選は前年入部の細木、近藤の両君の素晴らしい活躍で第二次予選の決勝戦になり敦賀商業と対戦することになりました。結果は敦賀よりヒットは多く打ちながら負けることになり、部員の諸兄と甲子園に行けなくなり誠に残念。精神の集中とがむしゃらな気魄が勝負には必要です。実力を持ちながら優勝できず小生の不徳の致すところ。我が青春に悔いあり。

一中42期会誌『十桜29号』より採録

"三平先生逝く"

金沢一中時代から'三平'さんの愛称で親しまれて来た吉本明先輩(一中52期)。さる20日(01年4月)逝かれたとはまだ信じ難い。今なお母校泉丘高校のグラウンドで野球の指導をしている姿が眼交に浮かぶ。

先輩は金沢泉丘高で体育の教職に就かれて以来 監督として野球に専念された。数年後の昭和28年 (第35回大会)そして38年(第45回大会)の夏、 少ない部員で、見事甲子園への夢を果たされた。 この偉大な功績から"三平野球"として有名にな り語り草になっている。豪放で型破りの監督だっ たが、厳しさの中にも人知れぬ優しさもあった。

金沢一中時代を振り返ってみれば、まさに万能のスポ・ツマンだった。戦後間もなく第一回国体や全国大会などで平泳、相撲の選手として活躍もされ、中でも相撲は内無双が得意技だったことも忘れ得ない。

福井で入院されていたが、こんなに早く逝かれるとは誠に誠に残念。何とか逆転打が放たれなかったのだろうか。悲しい限りである。

いろいろ語りたいことはあるが最後に先輩が母校泉丘高の甲子園への夢をかなえてくれればと望んでおられただけに、我々 OB 会は学校側とも全力を尽くして応援し、実現へのお約束をして先輩とのお別れの言葉としたい。

' 生涯をスポ・ツー途に春惜しむ' 一泉野球部後援会長山本道生(一中54期)



編集後記

吉本明先生に続いて、垣田生知(一中47期)先生が5月1日に他界された。一つの時代が過去形となってゆく寂しさを禁じ得ない。

一中や泉丘に在職された先生方の御事跡は校史 資料室にファイルしている。 同窓諸氏にも資料提 供の協力をお願いしたい。

時折、外部から旧制中学の野球事始めはいつからかとか、弓道はいつから始まったかの問い合わせが来る。これに答えられるのが「金沢一中校友会誌」である。石川県の旧制中学の弓道は大正時代から始められたということになっていたが、校友会誌5号により実は明治32年久田校長の初任の年の金沢一中の第一回弓道大会からであったということが分った。

「一泉」広告には毎年ご負担をかけています。30号は泉丘17期、18期ですのでよろしくお願いします。

「一泉」編集室

正村 健三(泉丘4期) 浅香以都子(泉丘10期) 小林 弘子(泉丘12期)

題字・坂野雄一(一中54期)